

宇都宮市立瑞穂野中学校

大規模地震 対応マニュアル



<令和7年4月1日現在>

マニュアルは作成しますが、教員・生徒の主体的な判断で
速やかに避難行動ができるようにします。

目 次

- 1 大地震発生時に教職員と生徒がとるべき行動・・・・・・・・・・ 2 頁
 - 発生瞬間、地震の揺れの最中
 - 揺れがおさまる1～2分前
 - 揺れがおさまった後
- 2 巨大地震発生時の学校の大まかな対応・・・・・・・・・・ 3
 - 生徒登校前の場合（休日・夜間・早朝）
 - 学校に生徒がいる時に大地震が発生した場合
- 3 組 織（災害対策本部と対策班の設置）・・・・・・・・・・ 4
- 4 学校内教育活動中における地震発生時の対応マニュアル・・ 6
- 5 登下校中における地震発生時の対応マニュアル・・・・・・・・ 7
- 6 災害時使用物品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8



1 大地震発生時の基本行動

大地震発生 大揺れ 30秒～40秒

＜まず 自分の身の安全を確保させ、避難することを考える＞

- ◎ どこにいても身の安全を図る。大揺れの中では思うように行動できない。しかし、とっさに頭、首を両手や持ち物で保護して、少しでも安全な方へ移動する。
- ◎ 揺れで、出入り口が動かなくなるのを防ぐため、ドアを開ける。
- ◎ 一般教室、理科室、家庭科室、廊下、階段、体育館、図書室、げた箱のある昇降口、給食室、校庭などの場所に応じた身の守り方をする。
- 机の下に入る。机がない場合は教科書や上着などで頭を隠す。ヘルメットや帽子があれば着用する。
- 廊下など「ガラスの多いところ」では教室に入る。
- 図書室や理科室、家庭科室では棚からとっさに離れる。
- 教師も生徒も「机の下に入れ！」「棚から離れろ！」などと声を掛け合う。
- 校庭では、校舎の壁際から離れ、校庭の中央を目指す。

身の安全を図りながら次（この後）の行動を想定する

＜生徒の安全、防火消火、負傷者の有無、救命・救護＞

「使用中の火を消す！」「出火はないか」「負傷者はいないか」「転倒・倒壊物の下敷きになっている者はいないか」——身の安全を図りながら、この4点をまず思い描く。

大揺れがおさまってくる 1～2分前後

＜周りの状態をしっかりと見る。自分の役割につく＞

揺れがおさまってきたら

「出火はないか」「負傷者はいないか」「転倒・倒壊物の下敷きになっている者はいないか」——ただちにそれらの確認に当たる。

停電により校内放送が使えない場合が想定されるので、教職員は大声で連絡を取り合い、生徒を校庭中央に避難させる。

消火、救出・蘇生等応急手当、負傷者搬送等の緊急行動の必要がないことを見極めたなら、生徒の混乱沈黙、秩序維持を指示し、所定の手順に従って安全確保に努める。

万一、火災が発生している場合は、職員は大きくA：生徒誘導班、B：消火班、の2班に分かれて対処する。発生していない時は、2班に分かれない。

特に、火災発生の場合は、ヘルメットを着用し、初期消火活動を優先する。

◎ 災害用スマートフォン の搬出
◎ 出席簿 の搬出
◎ ヘルメット の搬出

2 巨大地震発生時の大まかな対応

- 早朝**…校長・副校長は「生徒自宅待機」の可否を速やかに決定し、「自宅待機」ならば緊急連絡網（メール配信システム）による伝達の手配をする。同時に、登校した生徒の保護態勢をとる。
- 休日・夜間**…停電、交通網の混乱が予想されるので、学校の被害状況は学校近くの職員が現場を確認し、校長へ連絡（電話、メール）する。校長、副校長は速やかに学校へ向かい、被害状況を確認した上で市教委へ報告する。校長、副校長は今後の対応策を協議し、必要に応じて職員に連絡する。さらに、被害が甚大で、地区内生徒の家屋等の倒壊がしていると判断できる場合は、学校は地区住民の避難場所になるため、学校を開放できる準備を進める。

- 校庭に生徒を集合させ人員点呼し、けが等の確認（避難訓練と同様）【A班：火災発生時は保護活動】
- 万一火災が発生したら、消防への通報及び、初期消火にあたる。【B班：火災発生時は消火活動】

火災発生時は、職員は大きく【A：避難誘導班、B：消火班】に分かれる。

● 本部長は地震発生後数分間の情報に基づいて、当面の対処の指示。原則マニュアルに従って活動する。
ただし、緊急の場合は状況に応じて処理する。

- 3

3 組 織（災害対策本部と対策班の設置）

日常の安全教育及び安全管理を推進し、また、災害が発生した場合において、速やかに生徒及び職員
の安全確保を図るため、組織に「災害対策本部」と「対策班」を設ける。

（１） 災害対策本部の構成員と主な役割

（構成員） 校長（本部長）、副校長、事務職員、教務主任、安全指導担当

（委員会の役割）

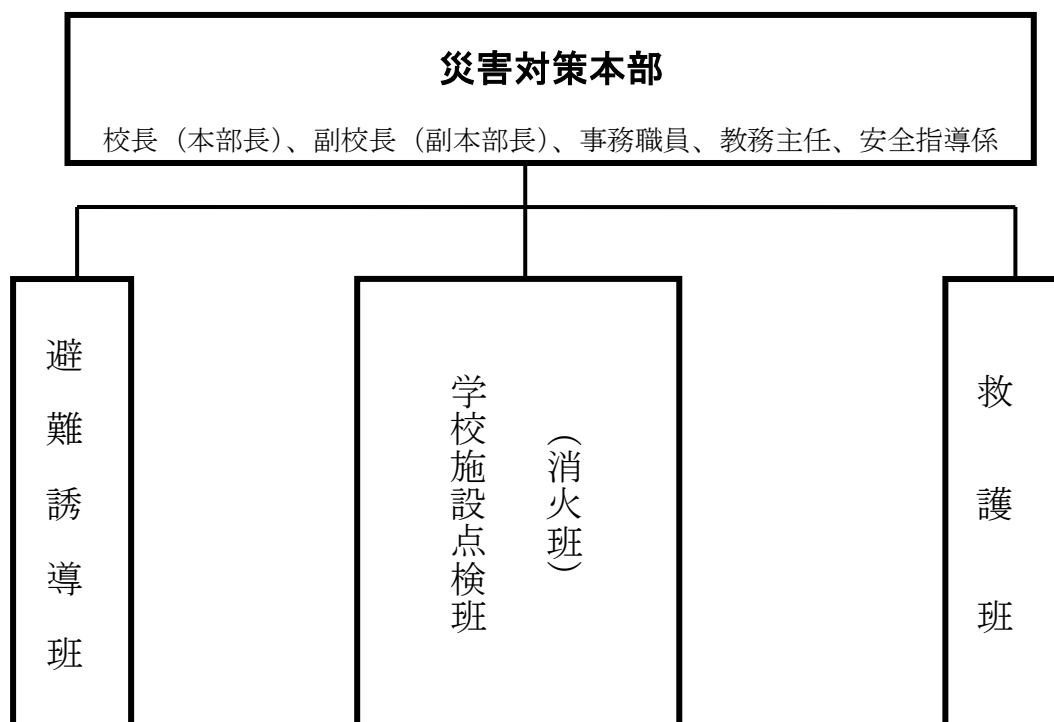
平 時

- ◎校 長 …組織全体の掌握、災害発生時の手順の確認、災害マニュアルのチェック
- ◎副校長 …外部との連絡調整、各対策班の準備状況確認、家庭・PTA、地域へのマニュアルの
周知と協力依頼、災害用スマートフォンの管理
- ◎安全指導係…災害マニュアルの作成、避難訓練の実施
- ◎事務職員 …防災用品の管理・維持（特に理科室 薬品庫、危険物集積所の確認）
- ◎教務主任 …生徒通学路の状況判断

地震発生時

- ★ 校長（副校長）…災害対策本部長として、災害の状況を判断し、生徒の安全を確保する。
→ 生徒の安否の確認（最優先事項）、避難誘導の指示、関係機関との連携
- ★ 事務長 … 施設、設備の被害状況の確認と本部長への連絡（揺れが収まってから、他の職員へ
指示して把握する）
- ★ 教務主任 … 通学路の安全確認情報収集と本部長への報告

（２） 対策本部・対策班の組織図



(3) 主な役割

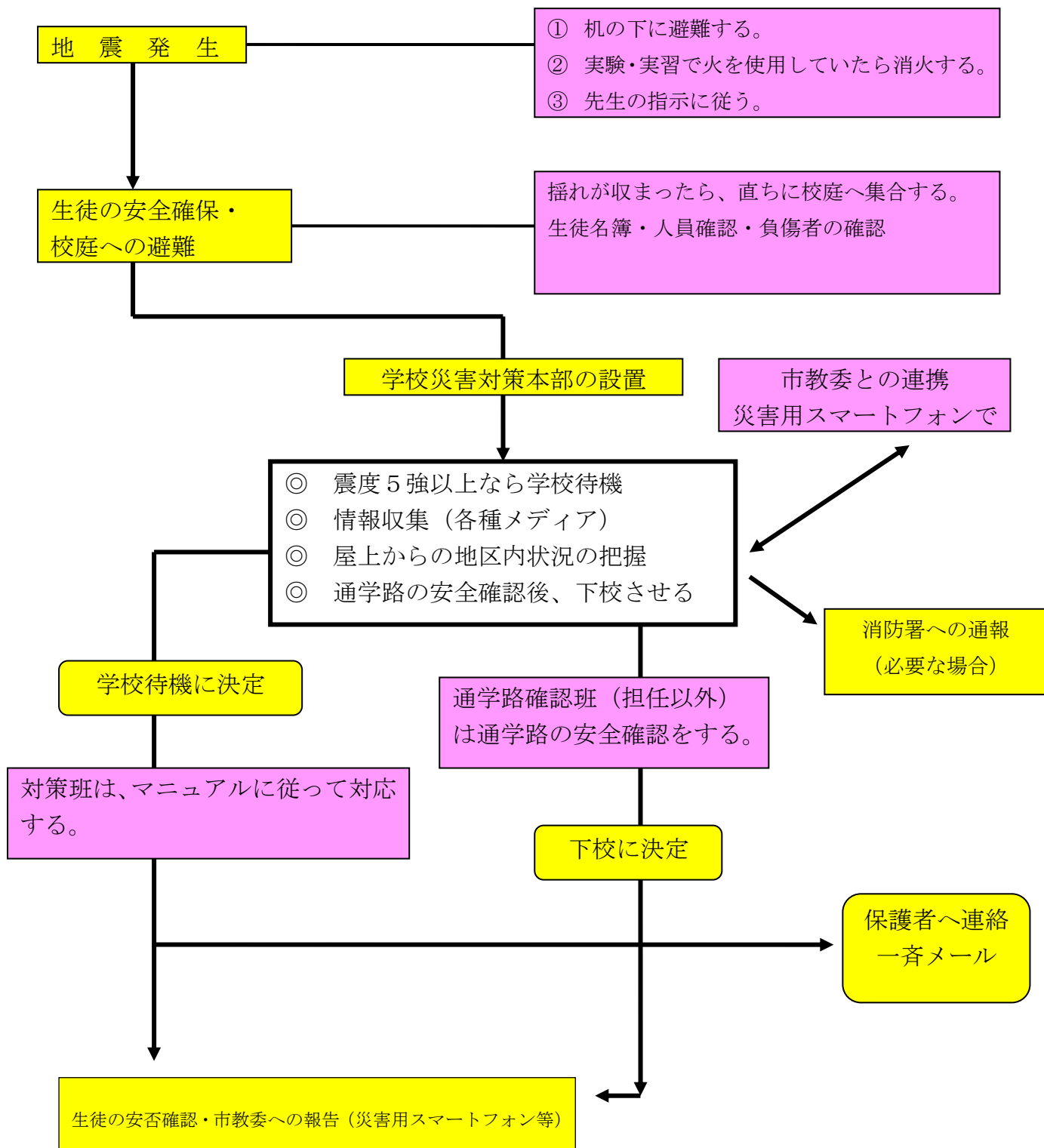
ア 平時

本部・対策班	主 な 役 割	必要な備品等	担当者
対 策 本 部	○対応マニュアルの作成 ○避難訓練の実施 ○災害用スマートフォンの使用法理解 ○非常時用品の調達と維持管理	○マニュアル ○ラジオ、 ○懐中電灯 ○小型トランシーバー・乾電池 ○非常食、簡易毛布	◎校長 副校長 (事務職員) (教務主任) (安全指導係)
避難誘導班	○保護者への引渡計画作成 ○一時待機時の非常用品の管理・維持 ○地震発生時に確認すべき通学箇所 の調査・分析	○ハンドマイク ○地区内地図	◎教務主任 学年主任 安全指導係
救 護 班	災害発生時に起こりうるけがの予想と対応時必要物品の管理	○応急処置薬品	◎養護教諭
学校施設点検班	災害発生時に確認すべき校内箇所のリストアップと災害発生後に点検するときに必要な物品の調達・管理	○ヘルメット ○デジカメ ○校舎内配置図	◎事務長

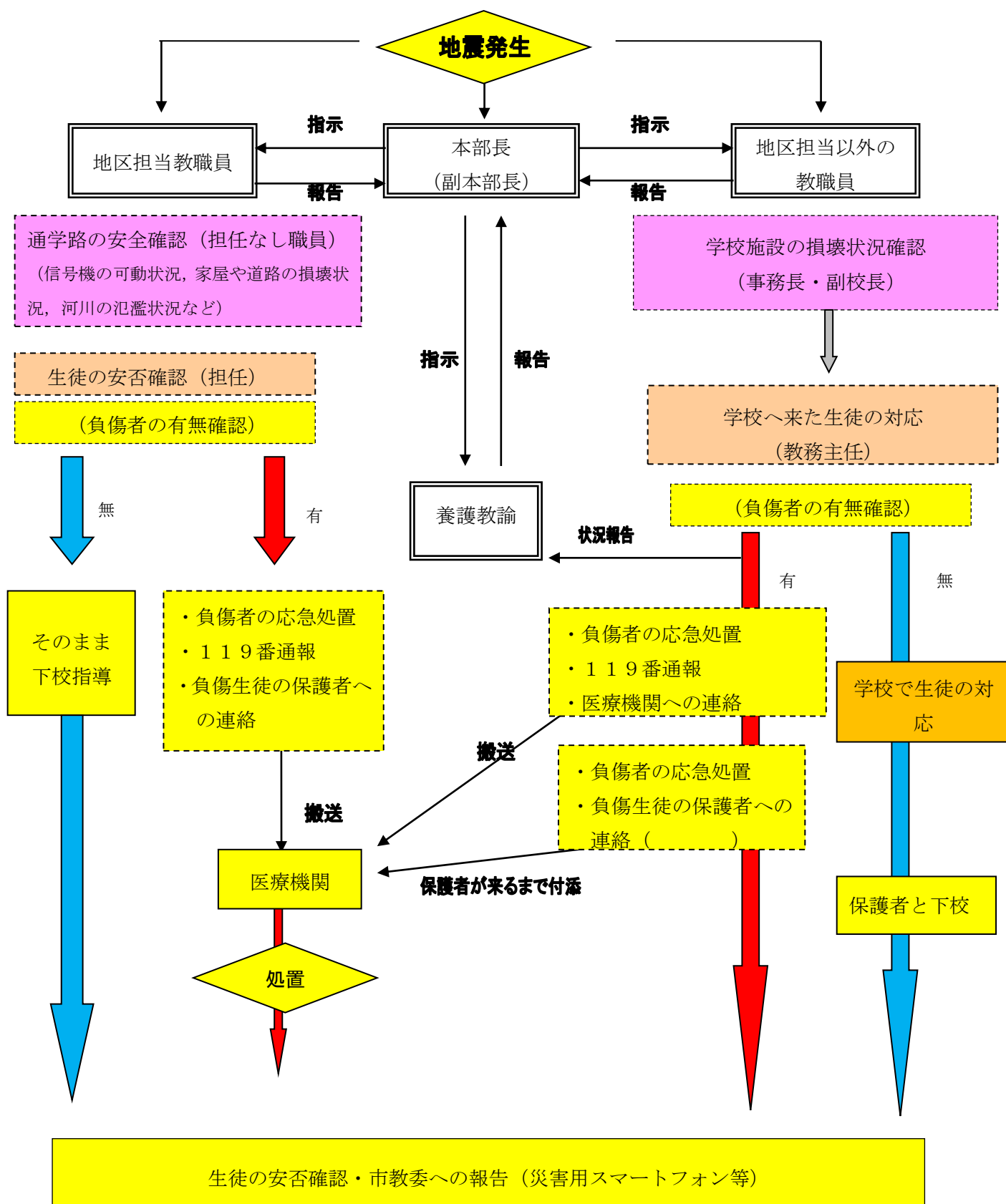
イ 地震発生時（震度５強以上、６弱は集団下校）

本部・対策班	主 な 役 割	必要な備品等	担当者
対 策 本 部 【A：生徒保護 通報班】	○被害状況の掌握（テレビ・ラジオ・スマホ） 外部との連絡 ○無線機による市教委との連携 ○通学路の危険箇所情報の収集（屋上からの目視 他） ○施設設備の破損状況収集 ○学校休業・学校再開の判断 ○保護者への連絡	○マニュアル ○災害用スマートフォン ○ラジオ、 ○懐中電灯 ○小型トランシーバー ○双眼鏡	◎校長 副校長 教務主任 (事務長)
避難誘導班	○校庭に避難した生徒の掌握 ○一時待機している子どもへの対応 ○事前にリストアップした危険箇所について、実際に点検し、本部へ報告する。	○ハンドマイク ○学区地図 ○非常食、簡易毛布	◎教務主任 学年主任 担任 ◎安全指導係 担任のない職員
救 護 班	負傷した生徒の応急処置	○応急処置薬品	◎養護教諭
学校施設点検班 消火班	○学校施設・設備を点検し、危険箇所がない確認し、本部へ連絡する。	○ヘルメット ○デジカメ	◎事務長 副校長

4 学校内教育活動中における地震発生時の対応マニュアル



5 登下校中における地震発生時の対応マニュアル



6 災害時使用物品（体育館 1 F 男子更衣室）

テント、担架、ハンドマイク、ろ過機、給水用水槽、発電機、投光機、炊飯装置、ガスボンベ、リヤカー、一輪車、コードリール、仮設トイレ、簡易トイレ、救急医療セット、毛布、ビニルシート、救命ロープ、雨衣、炊飯用ビニル袋、ラジオ、強力ライト、乾電池（単1～3）、ポリバケツ、ティッシュペーパー、ちり紙、トイレットペーパー、タオル、紙コップ、ヒシヤク、割りばし、缶切り、簡易トイレ用便袋、ローパーテーション、非常食、ハイパーテーション、ガス発電機、カセットガスボンベ

○生徒用備蓄品（校舎 2 F 男子職員更衣室）

○非常食用カンパン	60 缶	[1 缶 2 食入り]
○非常食用クッキー	27 箱	[1 箱 1 人用]
○毛布（ブランケット）	100 枚	[130×210 cm]
○LED ランタン	1 台	[100 時間連続点灯]
○飲料水（ペットボトル）	10 箱	[1 箱 24 本 1 本 500ml]

※避難者初期支援に関する事項は「避難者初期支援マニュアルガイドライン」に明記